

平成16年度地域冷暖房技術研修会〈東京〉報告

平成16年10月21日、22日と2日間にわたり『第10回地域冷暖房技術研修会』を開催致しました。

第1日目は鹿島建設(株)赤坂別館大会議室で講演会を行ない、第2日目は横浜の「みなとみらい二十一熱供給施設」の見学会を行いました。

地球温暖化、ヒートアイランド現象などに対応すべき「都市生活環境の向上」「エネルギーの有効活用」など都市の環境対策は今や焦燥の課題となりつつあります。特に本年度9月には京都議定書をロシアが批准し、いよいよ来年度初旬には発効するといった全世界的な規模で環境問題がクローズアップされてきており、我々地域冷暖房に携わる業界関係者としてもますますその技量が問われてきております。

こうした中、本技術研修会では例年ない取り組みを取り上げました。第1日目午前中には搬送動力削減のベースとなる「配管圧力損失計算の歴史と最新の研究」を国士舘大学斉藤先生に講義頂きました、海外の地域冷暖房の事例紹介としてマレーシア・シンガポールのプラントを講義いただきました。午後には当協会技術委員会の研究・WGテーマの講義として「新しいかたちの地域冷暖房」、「地域冷暖房のリニューアルにおける技術的課題」を発表しさらに「冷凍機の最新動向」としてトッランナー機器の最新技術開発状況をメーカー3社に説明いただきました。

当日は協会会員、熱供給事業協会会員さらには学生を含め例年より1割以上多い100余名の参加があり、終日熱心に聴講頂きました翌日の施設見学にも多数参加頂くことが出来ました。これらは、ひとえに各講師の皆様の熱意とお忙しい中見学を快諾下さった、みなとみらい21熱供給(株)の皆様のご協力の賜物であり、ここに深く御礼申し上げます。ここに、本年度技術研修会の概要と写真などを掲載し、その報告とさせていただきます。

【第1日目】

講義内容	講 師
開会挨拶 ご挨拶	協会技術委員長 岡村 明彦 協会副理事長 岡本 (鹿島建設) 専務取締役
1. 「配管圧力損失計算の歴史と最新の研究」	国士舘大学教授 斎藤 忠義
2. 「海外の地域冷暖房の事例紹介」	
1) クアラルンプール国際空港(マレーシア)	東京ガス 中根 伸一
2) バイオポリス(シンガポール)	日本設計 塚本 宏怡
3. 「新しいかたちの 地域冷暖房」	日本環境技研 桑原 淳
4. 「地域冷暖房の リニューアルにおける技術的課題」	高砂熱学工業 岡村 明彦
5. 「冷凍機の最新動向」	
1) 三重効用吸収冷凍機	川重冷熱工業 中島 邦彦
2) 高効率二重効用吸収冷凍機	日立空調システム 三善 信孝
3) インバーター・ターボ冷凍機	三菱重工業 関 亘
6. 「施設見学 概要説明」	
1) みなとみらい21地区地域冷暖房	みなとみらい21熱供給 松原 茂高
閉会挨拶	協会専務理事 佐々木 健

【第1日目】



講演風景



会場風景

【第2日目】 みなとみらい21 DHC施設見学



センタープラント
センタープラント 地域導管用共同溝



センタープラント
水管ボイラ: 換算蒸発量 40TON/h



中央監視室: 地域導管グラフィックパネル



中央監視室: 中央監視盤



第2プラント 吸収冷凍機: 冷凍能力
5,000RT



コージェネレーション用排ガスボイラ